

# ミカドONLINE

ミカド電装の情報サイト  
ミカドONLINEはこちらから



## 今月の Topics

### 低音、低振動、低臭で快適に海上移動する 世界初のEV船は乗組員の働き方改革にも貢献!



世界初のEVタンカー「あさひ」

#### 日本発! 世界で初めてのEV船

自動車にEV(電気自動車)があるように船にもEV(電気船)があるのをご存じですか?

写真の船は海運業を営む旭タンカー(本社東京都)が発注し、香川県丸亀市の造船会社、興亜産業が建造した「あさひ」です。「あさひ」は全長62メートル500トンの電気タンカーで、東京湾内で外航船に燃料輸送・燃料補給を行うバンカリング船として2022年に竣工しました。エンジンではなくモーターで動くため、騒音や振動が少なく臭いもありません。また重油を燃やして走る従来のタンカーは、熱気のこもったエンジンルームで汗だくになって作業しなければなりませんでした。電気タンカーではその必要がありません。

「あさひ」の動力源は3480kwのリチウム電池に蓄えられた電力です。1回の充電で10~12時間運航できますが、長距離を航海する船ではないため、それで十分なのだそう。そして25mプール二杯分の重油(約1000トン)を積んで東京湾内を行き来します。充電は川崎港で行い、東京電力から再生可能エネルギー由来の電力を購入しています。

#### ハイテック、快適、そしてうれしい時短と日勤

「あさひ」は360度旋回可能なプロペラを装備したハイテック船です。そのため前にも後ろにも右にも左にも船の向きを変えずにそのまま移動できます。そして操縦は舵輪ではなく、なんとゲーム機のようなジョイスティック!これによって直感的に船を動かせるとのこと。また居室や食堂、キッチンには乗組員が快適に過ごせるように配慮され、各部屋には小さな冷蔵庫もあるそうです。

EV船ではスタッフの働き方にも大きな変化がありました。ボタン一つですぐに起動するため、ディーゼル船で始業前に行っていたエンジンの暖機運転が不要になり、出航の2時間前から乗船しなくてもよくなったのです。

2023年、旭タンカーではEVの2号船「あかり」も竣工させました。EV船は給油のために夜には必ず港に戻らなくてはいけないので、泊りのない日勤シフトも可能になるかもしれませんね。ちなみに車のEVは「Electric Vehicle」の略ですが、電気タンカーのEVは同じEVでも「Electric Vessel(船)」の略とのこと。

「エネルギーマネジメント最新事情」の新作記事はこちら▶



「雑学・小ネタや  
当社の話題を  
編集部が  
ピックアップ!!」

# ミカドアラカルト



## 単位の歴史

### 1光年は新幹線が 約361万年かけて進む距離!



光年は天文学で用いられる距離(長さ)の単位です。非SI単位ですが特定の恒星までの距離を表すときなど、宇宙の距離を示すのによく使われていますよね。皆さんご存じのように1光年は光が1年間に進む距離ですが、1秒で地球を7回半も回ってしまう光の1年分って、いったいどのぐらいの距離なのでしょう?

1光年をkmで表すと 1光年=約9兆5000億km です! こういったスケールの大きな単位に置き換えないと、宇宙の距離はまさに天文学的な数字になってしまうため、星を語るには便利な単位かもしれません。光ではあまりに現実感がないので、これを新幹線に換算してみると、なんと新幹線が約361万年かけて進む距離だそうです。なんだか余計にピンときませんか? ^ ^

光年(英: light-year、独: Lichtjahr)という言葉を最初に使ったのは、自然科学の普及で知られるドイツの作家、オットー・エドゥアルト・ヴィンツェンツ・ウレ(1820 - 1876)です。

ウレはドイツ博物館が発行する雑誌の人気天文記事の中で光年という単位を始めて使いました。光年は英語で「light-year」ドイツ語でも「Lichtjahr」なので、どの国の言葉でもそのまま直訳されているようです。

「単位の歴史」他の記事はこちら▶



- ・空調、照明、冷凍冷蔵設備の老朽化が気になる方に
- ・環境にやさしい設備更新を効果的に進めたい方に

#### ミカドの省エネサポート



##### ◆補助金サポート

令和7年度補助金公募の季節です。設備更新をしなければ...しかし費用が...とお悩みの事業所様、なかなか進められない設備更新を省エネ補助金でお得に進めてみませんか? 当社は補助金の採用が決まるまでは一切費用を頂きません。

##### <昨年度の実績>

経産省 省エネルギー投資促進支援事業費補助金(設備費の1/3, 上限1億円)

宮城県 みやぎ二酸化炭素排出削減支援事業補助金(補助対象経費の1/2, 上限500万円)

仙台市 仙台市温室効果ガス削減設備導入支援補助金(補助対象経費の1/3, 上限100万円)

ほか多数サポートいたしました!

##### ◆省エネルギー診断

消費エネルギー削減に取り組まれている事業所様、まずは現状を把握してみませんか? 省エネ診断で見える化をサポートいたします。

詳細は当社までお問い合わせください

022-256-8191

担当: 岩淵

随時更新!  
補助金の  
最新情報は  
こちら



スタッフが語る

## コレがわたしのお気に入り

### 「くつ乾燥機」

ミカド電装商事株式会社 沢田秀二さん(社長)



最近のわたしのお気に入りはこれ「くつ乾燥機」です。

雨にぬれたり、洗った後のくつを効率よく乾燥させる目的で購入したのですが、寒い日の出勤前に5分程度かけておくと靴の中が

ポカポカになり、くつに足を入れた瞬間にとてつもない幸福感につつまれます。

冷感性で悩まされていた自分には神マシンで、もう手放せませんね。



# 給食でおなじみのフレンドヨーグルトは 宮城のソウルフード

山田乳業株式会社（宮城県白石市）

管理部 企画推進チーフ 山田 悠太 様

聞き手 ミカド電装商事株式会社 代表取締役社長 沢田 秀二



様々な乳製品を作っています



山田チーフ（奥）のご案内で工場見学



宮城県民おなじみのフレンドヨーグルト

今回は宮城県白石市の山田乳業株式会社様をご訪問し、山田悠太企画推進チーフにお話を伺いました。山田乳業様は当社の補助金サポートにより「みやぎ二酸化炭素排出削減支援事業補助金」の認定を受け、事業費635万円（税抜）の冷凍・冷蔵設備更新を補助率2分の1の工事費で完了いたしました。同社の事業や設備更新についてミカド電装商事の沢田秀二がインタビューをさせていただきました。



会社の歴史を語る山田チーフ

## フレンドヨーグルトは 宮城県民のソウルフード！

**沢田** 今日はよろしくお願います。うちの社員に聞きましたが、御社の「フレンドヨーグルト」は給食によく出た、とても親しみのある商品なんですね。

**山田チーフ** ありがとうございます。山田乳業の牛乳は仙南地域の給食で、そして「フレンドヨーグルト」は宮城県全域の給食センターに納入させていただいています。

**沢田** 残念ながら私の時代の給食には出なかったのですが、そうなると宮城県民のソウルフードともいえますね。実は私、昨年の8月11日に放送された「かのおが便利軒（仙台放送）」を見ていたんですよ。

**山田チーフ** あれはこちらの社長のアイデアがきっかけなんです。市販の「フレンドヨーグルト」（3個パック）の台紙に4コマ漫画を掲載することになり、お客様からエピソードを募ったところ、それが「OH！パンデス」などに取り上げられて、それを見た「かのおが便利軒（仙台放送）」のディレクターさんから、取材させてほしいという連絡をいただいたんです。ご出演の狩野英孝さんや尾形貴弘さんも宮城のご出身で「フレンドヨ



「ヨーグルト」をよくご存じでした。そういった経緯もあり、ここ（本社）で行われた撮影はとても順調で、私は当日、社長たちが参加するゲームコーナーの司会までさせられてしまいましたよ（笑）

当日の放送内容は「かのおが（仙台放送）」のサイトに詳しく掲載！

## 変化を繰り返し 宮城・白石を代表するブランドに

**沢田** 宮城県だけでなく、御社の「プロム蔵王」というブランドは全国でも人気があるそうですね。

**山田チーフ** 成城石井さんとか明治屋さんとかクイーンズ伊勢丹さんとか高級なスーパーには入っています。それから全国各地の宮城フェアで販売したりしています。ですが一番は、ふるさと納税の返礼品になっていることが人気の理由かもしれません。このポスターのコピーも白石市の方が考えてくれたんです。

**沢田** 敷地には蔵を活用した倉庫もありますが創業は古いのですか？

**山田チーフ** 創業141年になります。最初は酪農家でした。ここで牛を飼って乳を搾り地域の方に売っていたそうです。株式会社にしたのは私の祖父の代からですが、事業を拡大していく中で、その時々主力商品の浮き沈みを何度も経験し、生き残りをかけて様々な製品を作ってきたのが現在に繋がっています。一時期は納豆も作っていたんですよ。当社のような中小の乳製品事業者で、アイスやデザートまで手掛けているのは珍しいんです。たいていは牛乳だけか、ヨーグルトぐらいまでかもしれません。

**沢田** 確かに変化は大事ですね。私達の会社も最初はカーバイトを扱っていたんです。それが幾多の変遷を経て今に至っています。あのままカーバイトを扱っていたら、今はもうなかったかもしれません。

## 設備の老朽化に不安を感じ ひやひやする毎日でした

**山田チーフ** 歴史はあるのですが、様々な設備がけっこう古くなってきているんですよ。乳製品は衛生管理が非常に重要なのですが、冷蔵庫（保管室）を冷やす冷凍機が一番心配で、真夏に突然止まったらどうしよう？などと思いつつながら、ひやひやすることが増えてきました。そこで補助金を使った設備更新を検討し始め、当社とお付き合いの



今回更新した冷凍機を背景に記念撮影  
(左)山田チーフ(右)当社の沢田

あるサンデン・リテールシステムさんにミカド電装商事さんを紹介してもらいました。

**沢田** あれは2年前でしたよね。

**山田チーフ** はい。本当は2年前に冷凍機の更新を優先してやりたかったんですが、色々な兼ね合いがあって準備が間に合いませんでした。別な方法で補完するという方法もあったのですが、中途半端なことはせず、翌年の補助金に応募して省エネ性能の高い最新の冷凍機に替えようと思いました。

## 補助金申請は本当にスムーズでした 今ほどに「安心」のひとことですよ

**沢田** 山田乳業さんは省エネお助け隊の省エネ診断（経産省事業。診断員はミカド電装商事が派遣）を受けてくださったので、補助率の優遇が適応されて2分の1の金額で工事が完了したんですよ（診断を受けない場合は3分の1）

**山田チーフ** 省エネお助け隊の診断ですすごいですよ。隅から隅までとても詳しく見ていくので「専門家の仕事だ」と思いました。詳細な助言もたくさんいただきましたし、そこから先はもう本当に楽でしたよ。実は一度、自力で補助金申請をしたことがあるんですけどよくわかりませんし、プロのサポートを受けられるありがたみって、自分でやったことがある人じゃないとわからないかもしれません。

**沢田** そういつただけると大変嬉しいですね。形がないものの提供って、あまり価値をわかっていただけないことが多いんです。担当者にとっても非常にげみになると思います。

**山田チーフ** 冷凍機を更新して本当に安心しました。それが何よりの感想です。新しいものに変えたい設備はまだほかにもあるので、これから計画を練って順序立ててやっていきたいです。今後も末永くどうぞよろしくお願いたします。

**沢田** こちらこそどうぞよろしくお願いたします。そして本日は貴重なお話をどうもありがとうございました。

お問い合わせは

ミカド電装商事

TEL 022-256-1819